

公益社団法人 大阪府理学療法士会
新型コロナウイルス感染症拡大における事業開催についての指針・指標(ガイドライン) 表【案】(※1)

2021/3/4

事業	内容・形態	感染症拡大状況(※2)			
		ステージⅠ 感染 拡大時期	ステージⅡ 感染 準拡大時期	ステージⅢ 感染 準収束時期	ステージⅣ 感染 収束時期
講演会 研修会	講義・講演	リモート開催	リモート開催	リモート・対面による併用開催 条件①-④遵守	対面開催 条件①・②・④遵守
	演習 グループワーク (3密回避困難)	自粛 または リモート開催	自粛 または リモート開催	リモートまたは対面による開催 条件①-⑥遵守	対面開催 条件①-⑥遵守
	身体接触を伴う 技術伝達 (3密回避困難)	自粛	自粛 または リモート開催	自粛 または リモート開催	対面開催 条件①-⑥遵守
公益事業	会員対象 (学術大会・新人カ イダンス含)	リモート開催	リモート開催	リモート・対面による併用開催 条件①-③遵守	対面開催 条件①・②・④遵守
	市民・府民対象 (不特定多数・ 追跡困難)	自粛	自粛 または リモート開催	自粛 または リモート開催	対面開催 条件①-⑥遵守
部会・理事会	小規模会議	リモート開催	リモート開催	リモート・対面による併用開催 条件①(g 除く)-④遵守	対面開催 条件①(g 除く)-④遵守
部長会 責任者会議 定期総会	大規模会議	リモート開催	リモート開催	リモート・対面による併用開催 条件①-④遵守	対面開催 条件①-④遵守

- 条件①
- a 参加者は1週間前から当日まで症状なし
 - b 参加者はマスク常時着用
 - c 会場(部屋)常時換気
 - d 入室時に手指消毒
 - e 最少1mから最大2m間隔の距離確保(1人最大4m²スペース確保)
 - f 参加者名簿の作成・管理(追跡のため事前申込を基本として連絡先など掌握)
 - g 大阪コロナ追跡システムへの登録
 - h 複数の人が使用する機器・備品類を適宜消毒
- 条件② 講師・演者・司会者のフェイスシールド着用または演台に飛沫防止シート等の設置
- 条件③ 50人以下で且つ最大収容定員の半数以下
- 条件④ 席次表の作成・管理(追跡できるように連絡先など掌握)
または各部屋の入室記録管理
- 条件⑤ 参加者フェイスシールド着用(演習・技術伝達等の密接時)
- 条件⑥ 一実施(演習・接触)ごとに手洗いまたは手指消毒

※1 全国的な状況や政府・大阪府の方針を鑑みて適宜変更を検討
※2 感染症拡大状況(ステージ)の判断は府士会役員間で2週間から1ヶ月ごとに決定

日本理学療法士協会 (HPより)

日本理学療法士協会事業	ステージ1(注1)	ステージ2(注1)	ステージ3(注1)	ステージ4(注1)
		感染が拡大している状態	感染拡大が懸念される状態	感染拡大が概ね抑制できている状態
対面集合事業 (演習を含む)	リモート開催	リモート開催を推奨 適切な感染予防策を講じたうえで、 50人以下、収容定員の半分以下 (生涯学習課作成ガイドライン(注3) 順守)	リモート開催を推奨 適切な感染予防策を講じたうえで、 100人以下、収容定員の半分以下 (生涯学習課作成ガイドライン(注3) 順守)	適切な感染予防策を講じたうえで、 収容定員の半分以下 (注2) (生涯学習課作成ガイドライン(注3) 順守)
対面技術(実技)系事業 (通常は身体接触を 伴うもの)	リモート開催	リモート開催	適切な感染予防策を講じたうえで、 30人以下、収容定員の半分以下 (注2) (生涯学習課作成ガイドライン(注3) 順守)	
対面開催の場合の 参加者、受講者	(リモート参加)	開催都道府県会員のみ	開催都道府県会員のみ (地域により近隣県からの参加可)	開催都道府県以外からの参加可

注1:ステージは新型コロナウイルスの感染状況により、日本理学療法士協会新型コロナウイルス対策本部にて決定する。
注2:リモート開催を妨げるものではない。ビジュアルエイドの使用やPCIによるディスカッションによる参加者および講師の接触機会の減少を推奨。
注3:7月中に別途通知する予定。

研修開催指針 ステージ2 (2021年3月2日時点)

新型コロナ対策本部では感染状況からステージを判断し、
段階的に対面での研修会、講習会事業を開催する場合の指針を定めました。

ただし、地域により状況が異なるため、協会ステージは目安として、
都道府県の実態に応じて感染拡大防止に努めることとします。
社会状況が変わらなければ1ヶ月を目途にステージが上がります。
社会状況に応じて、ステージが下がることもあります。

公益社団法人 大阪府理学療法士会
 新型コロナウイルス感染症拡大における事業開催についての指針・指標(ガイドライン) 表【案】(※1)

2021/2/4

事業	内容・形態	感染症拡大状況(※2)			
		ステージⅠ 感染 拡大時期	ステージⅡ 感染 準拡大時期	ステージⅢ 感染 準収束時期	ステージⅣ 感染 収束時期
講演会 研修会	講義・講演	リモート開催	リモート開催	リモート・対面による併用開催 条件①-④遵守	対面開催 条件①・②・④遵守
	演習 グループワーク (3密回避困難)	自粛 または リモート開催	自粛 または リモート開催	リモートまたは対面による開催 条件①-⑥遵守	対面開催 条件①-⑥遵守
	身体接触を伴う 技術伝達 (3密回避困難)	自粛	自粛 または リモート開催	自粛 または リモート開催	対面開催 条件①-⑥遵守
公益事業	会員対象 (学術大会・新人ガイダンス含)	リモート開催	リモート開催	リモート・対面による併用開催 条件①-③遵守	対面開催 条件①・②・④遵守
	市民・府民対象 (不特定多数・追跡困難)	自粛	自粛 または リモート開催	自粛 または リモート開催	対面開催 条件①-⑥遵守
部会・理事会	小規模会議	リモート開催	リモート開催	リモート・対面による併用開催 条件①(g 除く)-④遵守	対面開催 条件①(g 除く)-④遵守
部長会 責任者会議 定期総会	大規模会議	リモート開催	リモート開催	リモート・対面による併用開催 条件①-④遵守	対面開催 条件①-④遵守

- 条件①
- a 参加者は1週間前から当日まで症状なし
 - b 参加者はマスク常時着用
 - c 会場(部屋)常時換気
 - d 入室時に手指消毒
 - e 最少1mから最大2m間隔の距離確保(1人最大4m²スペース確保)
 - f 参加者名簿の作成・管理(追跡のため事前申込を基本として連絡先など掌握)
 - g 大阪コロナ追跡システムへの登録
 - h 複数の人が使用する機器・備品類を適宜消毒
- 条件② 講師・演者・司会者のフェイスシールド着用または演台に飛沫防止シート等の設置
- 条件③ 50人以下で且つ最大収容定員の半数以下
- 条件④ 席次表の作成・管理(追跡できるように連絡先など掌握)または各部屋の入室記録管理
- 条件⑤ 参加者フェイスシールド着用(演習・技術伝達等の密接時)
- 条件⑥ 一実施(演習・接触)ごとに手洗いまたは手指消毒

※1 全国的な状況や政府・大阪府の方針を鑑みて適宜変更を検討
 ※2 感染症拡大状況(ステージ)の判断は府士会役員間で2週間から1ヶ月ごとに決定

日本理学療法士協会 (HPより)

日本理学療法士協会事業	ステージ1(注1)	ステージ2(注1)	ステージ3(注1)	ステージ4(注1)
		感染が拡大している状態	感染拡大が懸念される状態	感染拡大が概ね抑制できている状態
対面集合事業 (演習を含む)	リモート開催	リモート開催を推奨 適切な感染予防策を講じたうえで、 50人以下、収容定員の半分以下 (生涯学習課作成ガイドライン(注3) 順守)	リモート開催を推奨 適切な感染予防策を講じたうえで、 100人以下、収容定員の半分以下 (生涯学習課作成ガイドライン(注3) 順守)	適切な感染予防策を講じたうえで、 収容定員の半分以下 (注2) (生涯学習課作成ガイドライン(注3) 順守)
対面技術(実技)系事業 (通常は身体接触を伴うもの)	リモート開催	リモート開催	適切な感染予防策を講じたうえで、 30人以下、収容定員の半分以下 (注2) (生涯学習課作成ガイドライン(注3) 順守)	
対面開催の場合の 参加者、受講者	(リモート参加)	開催都道府県会員のみ	開催都道府県会員のみ (地域により近隣県からの参加可)	開催都道府県以外からの参加可

注1:ステージは新型コロナウイルスの感染状況により、日本理学療法士協会新型コロナウイルス対策本部にて決定する。
 注2:リモート開催を妨げるものではない。ビジュアルエイドの使用やPCによるディスカッションによる参加者および講師の接触機会の減少を推奨。
 注3:7月中に別途通知する予定。

研修開催指針 ステージ2 (2021年2月2日時点)

新型コロナ対策本部では感染状況からステージを判断し、段階的に対面での研修会、講習会事業を開催する場合の指針を定めました。

ただし、地域により状況が異なるため、協会ステージは目安として、都道府県の実態に応じて感染拡大防止に努めることとします。社会状況が変わらなければ1ヶ月を目途にステージが上がります。社会状況に応じて、ステージが下がることもあります。